



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第430号

「世界病者の日」を前にして思うこと

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

最近、亡くなられた方々やそのご家族、高齢のために教会に集うことのできない方々やそのご家族と接する機会が少しずつ増えてきたように感じます。理由は様々考えられると思いますが、その一つには信徒同士の横のつながりが活発になってきたという点もあるのではないかと思います。事実、ご自宅にご聖体を持参したり、病棟を訪ねたりする動きは、要望に応える意味でわたしが連絡を受けなければできないものですが、最近は何かの機会に連絡をいただいたり、第三者を介して連絡を受けたりする機会が増えてきました。引き続き、相互が知人同士、地区内などにおけるつながりの意味を大事にし、神と教会共同体と人と人との架け橋になっていただくようお願いいたします。神の望みは、キリストを通して人類をご自分と和解させることによって強固な関係に導くことだからです(ローマ5・10~11 参照)

そこで、提案します。もう一步、もう二歩、前進しませんか。わたしがまだまだ耳にするのは、信徒は自分だけなので家に訪ねて来られても迷惑をかける、家が散らかっていて申しわけない、神父にご足労かけたくないなどの声です。一個人としてその言葉の意味するところは理解できますが、人であるわたしたちは、キリストとの結びつきによって人として完成されることを忘れてはなりません。神父が老齢の信徒や病気を患っている信徒のもとを訪ねるのは、キリストに仕える奉仕職に基づき、それにより、その方の信仰心を励ますためであって、神父個人の感覚や考えなどからではないのです。むしろ、そのような声を聞くたびに「その方の信仰心はどこにいったのだろう」と思いたくもない言葉が頭をよぎります。純粋な気持ちから、神父だけでなく家族にも迷惑をかけたくないとおられるのは確かでしょう。だからこそ、考えてみて下さい。わたしたちの宣教の使命は第一に家族に向かうべきもので、信徒ではない方が家族の中におられるならば、尚更、ご

召命を祈る会より・他	2面
感謝の祈りの集いしぽ	3面
幼稚園から	4面
初聖体式	5・6面
委員会等報告	7・8面
お知らせ	8面

自分のもとを訪ねたいと望むキリストの意志に應えることがそのための絶好の機会になり得るのです。老齢で自宅にいても、病を患っていても、すべての人にキリストを証しし、キリストに従ういわば真の人の姿を示すことはできるのです。どうぞ、今年の「世界病者の日」のために教皇フランシスコが出されたメッセージにも耳を傾けてみて下さい。以下、一部を抜粋。

「わたしたちの生の中心にある真理を思い起こしましょう。わたしたちがこの世に生を受けたのは、だれかが迎えてくださったからであり、わたしたちは愛のために造られ、交わりと友愛へと呼ばれているということ、です。わたしたちの本性のこうした部分は、とりわけ病の時や弱っている時にわたしたちを支えるものであり、この社会の病をいやすため、皆で取り入れるべき第一の治療法です。一過性のものであれ慢性的なものであれ、病にある皆さんに言いたいのは、寄り添いや優しさを求める気持ちを恥じないでほしいということです。隠さないでいいのです。人の負担になっているなどと思わないでください。病にある状況というのは、慌ただしい生活のペースを緩め、自分自身を見つめ直すよう、だれをも招くのです」。



召命を祈る会より

毎月一回14時より小倉教会で「召命を祈る集い」が行われていましたが、平日ということもあって限られた方々しか参加できない状況でした。

もっと多くの方(特に子供たちとご家族)に参加してもらいたくて、初めての試みで、2月10日土曜日14時から小倉教会にてミサを捧げ、その後親睦会を開催します。

これを機会に水巻教会からもたくさんの参加をよろしくお願いいたします。

聖堂の座席椅子について

現在教会用の座席椅子として、長椅子とパイプ椅子を併用しています。

ただ信者さんの中には「パイプ椅子には違和感がある」と言われる方もおり、小教区委員会で問題提起されました。委員会では木製の折り畳み椅子の意見が出ています。ご意見がある方は、お知らせください。

各種手続きの用紙について

今月号から教会の「各種手続き」を配布します。聖堂後ろの棚に常備していますが、忘れていた事や信者として覚えてほしい事などが網羅されており、信者として一度は目に通してほしいことが書かれていますので、今月号から添付することにしました。

感謝の祈りの集い レポ 宮城 直美

大晦日「感謝の祈りの集い（聖体賛美式と教会の祈り）」に参加した。
谷口神父より教会の祈りについての説明があった。

- ・叙階された司祭は教会の祈り(朝、昼、晩、寝る前、読書)は義務である。
- ・これらは全ての信者が唱えることのできる祈りである。

典礼聖歌 61 番、ミサの時と同じように白のカズラを着けた神父様が入堂、祭壇の聖体顕示台（オステンソリウム）に御聖体が納められ、献香。

1 月 1 日・神の母聖マリアの前晩の祈り

先唱、交唱は神父様

初めの「神よわたしをカづけ」と栄唱、賛歌は典礼聖歌 321 番。

第一唱和 詩編 113 第二唱和 詩編 147 (12-20)

第三唱和 エフェソ 1・3-10

先唱に続いて右側の席、左の席と交互に一節ずつ唱和。

神のことは ガラテヤ 4・4-5

神父様の先唱、一同の答唱（詩編 147）。

神父様が糾明を促し、沈黙の祈りの時間。

交唱「時が満ちると神はご自分の子を女から生まれる者としておつかわしになった アレルヤ」 マグニフィカト（典 178）を右、左と交互に。

共同祈願（ミサの時と違って 4 番目は必ず死者の為）

主の祈りを唱え、次いで神父様が結びの祈願を。（ちなみに、教会の祈りの結びの祈願文は、ミサの集会祈願文と同じ）

顕示されていたご聖体のご聖櫃に戻され、派遣の祝福で集いは終了した。

残念と感じた点

始まりの時にぼんやりしていて初めの 司「神よわたしをカづけ」一同「急いで助けに来てください」が記憶になくて残念

主の祈りも歌いたかった

よかったと感じた点

共唱できた(教会の祈りは一人でも唱えられるが、共唱することを推奨されている)

ご聖体を仰ぎ見る静かな祈りの時間

神父様司式の教会の祈りは最後に祝福がいただける

ネット版教会の祈り <https://jp.seimunikka.org>

朝、昼、晩、寝る前の祈りが掲載されている

寝る前の祈りのページには『他の賛歌』のボタンがあり、進むとグレゴリオ聖歌の聖母賛歌を聴くことができる



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 2月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

3学期が始まりました。始園式では、みんなで新しい年を迎えることが出来たことに感謝し、震災を受けた方々へのお祈りをささげました。お部屋では3学期に頑張りたいことを話し、年長児は幼稚園で過ごすのも残りわずかとなりました。まとめの学期として大切に過ごしていきたいと思えます。



先日は餅つきをしました。せいろで蒸す様子を見たり、「よいしょ、よいしょ。」と声を合わせ杵でお餅をつき、つきたての温かいお餅を手にとって丸めたり、保護者の方と楽しい時間を過ごすことが出来ました。自分で丸めたお餅は持ち帰り、子ども達は「きなこもちにする」「あんこもちにする」と楽しそうに話していました。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



1月のお誕生日会がありました。同じ日に生まれた子どもが、3人もいたのは初めてです！「寒い日に生まれましたね。でも、可愛い花がたくさん咲く季節ですね！」と、園長先生に、サイネリア、パンジー、水仙の花を頂きました。寒さを糧に、夫々の花を咲かせて下さいね！

重いタイヤを、「うーん、うーん。」と、どうにかして引っ張ろうと頑張っています。入園して5ヶ月。園にも、すっかり馴染んできた1歳8ヶ月の〇〇ちゃんです。モンテッソーリ先生が、『1歳半頃に⇨最大限の努力』という敏感期がある、と書いていますが、本当ですね!!

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同



教会学校のページ

アベイヤ司教様司式で 「初聖体式」

1月14日、ミサ中にアベイヤ福岡教区司教様司式のもと5人の子ども達が初聖体を授かりました。

5人の子ども達は、それぞれにちょっぴり緊張気味で信徒の皆さんへの紹介ではもじもじ、下を向く子も…。それでも、司教様からのお祝いの言葉をいただくと、嬉しそうに破顔一笑。和やかな雰囲気です。「初聖体式」を終えました。

ミサの後は「初聖体式」とアベイヤ司教様水巻御訪問の歓迎パーティーが信徒会館で行われました。おにぎりにサンドイッチ、唐揚げなどがたくさん用意され、お祝いと歓迎のムードは一挙に高まり、楽しいひと時はあっという間でした。

それでは「初聖体」を授かった5人の子ども達を紹介します。

宗 友悠(ともひさ)さん、宗 春杜(はると)さん、

Iさん 3きょうだい(ご両親の希望で氏名は略させていただきました)

おめでとうございます。



【初聖体式】



【司教様からプレゼントをもらいました】



【初聖体後の記念撮影】

【歓迎パーティーの様子】



NPO 法人抱樸(ほうぼく)への支援活動

水巻教会は外に出向いて行く教会、宣教する教会として、NPO 法人抱樸が「出会いから看取りまで」と掲げる伴奏型支援活動に協力しています。

「ホームレス支援炊き出し」

日時：2024年2月23日(金) 9時～

場所：水巻教会 信徒会館

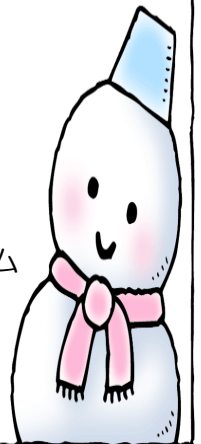
★お弁当130食を作ります。

○おかず数品を準備し、ご飯と一緒にパックに詰めます。

○お手伝いをしていただける方は、聖堂後方に置いてある「ホームレス炊き出し協力者」の用紙に、お名前を記入してください。

*出来上がったお弁当は、炊き出し拠点の小倉勝山公園で配食されます。

<抱樸支援会>



委員会等報告

2024年1月分

1月度小教区委員会 1月21日

1. 行事予定

- ・2月11日(日) 11時～ミサ。ミサ後
教会学校・小教区委員会
- ・2月14日(水) 灰の水曜日 16時～
(※直方は19時半～ミサ)
- ・2月17日(土) 18時～ゆるしの秘跡、
19時～四旬節黙想会(第1部)。
黙想指導はFr,ベリオン師(パリ外国宣教会)
- ・2月18日(日) 8時～ゆるしの秘跡、9時～ミサ。ミサ後～四旬節黙想会(第2部)。黙想会終了後にFr,ベリオン師の送別会
- ・2月23日(金) 9時～抱樸支援のための炊き出し作業。
- ・2月24日(日) 9時～ミサ
ミサ後～教会学校、こころの会

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

①広報委員会

・1月28日(日)に「からしだね」の編集作業。2月号はアベイヤ司教様の訪問と初聖体式の様子を中心にしたい。

②典礼委員会

・降誕祭の典礼のために協力して下さったことに感謝したい。2月14日(水)から四旬節が始まるため、典礼委員会を開く。

③総務委員会

・特になし

④財務委員会

・2023年度の会計実績、および2024年度の予算案を確認後、承認。

⑤営繕の部

・「お花を生ける会」のための棚を設置完了。

⑥納骨堂管理の部

・特になし。

⑦冠婚葬祭の部

・教会に常備してある白色の棺の覆いが大きすぎて棺のサイズと合わないために見栄えが悪く、毎回、不便をきたしている。訃報がいつ入るか分からないので、早急にサイズの調整を行いたい。

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・地区聖書講座を今年も全4回で行う。11月(12月の月上旬か)には水巻教会を会場にして行われる。

(2)ミサ時間の変更について(主日、平日)

・主日ミサは聖週間もあって3月いっぱいまでは変則的になるが、4月以降は以下のように固定する。

*主日⇒<水巻>奇数週は11時～、偶数週は9時～。<直方>奇数週は9時～、偶数週は11時～。

・平日ミサは3月以降から次のように変更する。

*平日⇒<水巻>火、木、土曜日の7時～(※木曜日は10時～)。<直方>月、水、金曜日の10時～。

(3)プロジェクターとスクリーン、遮光カーテン、聖堂用の座椅子について

・プロジェクターとスクリーンおよび遮光

カーテンは今後、こころの会や黙想会、地区における講座等での使用が見込まれるため、購入を検討できないか。⇒承認。見積りを取る。

・聖堂の座椅子(予備)については、現在、パイプ椅子を用いている。正式な聖堂用のものが必要ではないかとの声を受けている。このことについても検討したい。⇒「からしだね」で信徒の意見を聞いたうえで判断する。

(4) 敬者の祝いの在り方について

・ここ2年間を振り返り、課題を踏まえたうえで、今年以降はどのようなものにするか。⇒会計への経済的負担、地区委員の負担が大きくなることが見込まれるため、今後は敬者のお祝い会としては信徒会館にて行うこととする。また対象者については3つのグループに分けて対応するようにする。1、教会

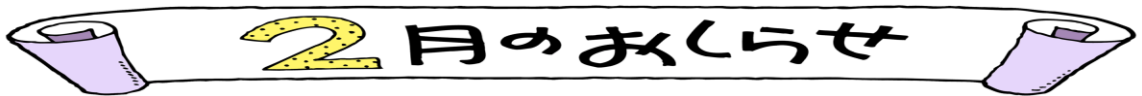
に集える方々には口頭、お知らせ等で呼びかける。2、自宅におられる方々には返信用ハガキを用いての案内状を送付する。3、施設に入所しておられる方々には別のかたちで対応する(ご家族、施設側への配慮を前提に)。

(5) 訃報の連絡網について。

・連絡網で訃報を回したところ、自分とは関係ないので訃報を回さないで欲しいと苦情を言われた事例が度々起こっている。これを受け、訃報を回す対象者を教会に集っている信徒に限定すべきかを検討。⇒今後、このようにする。

(6) その他

・来週1月28日(日)、13時半～直方教会にて直方教会の教会委員会の皆さんとの親睦会を行う。希望者は一品持ち寄り。



★灰の水曜日(大斎・小斎)★

日 時：2月14日(水) 16時～

★四旬節の黙想会★

日 時：2月17日(土) 19時から

2月18日(日) ミサ後

指導司祭：ベリオン神父(パリ外国宣教会)
両日、黙想会が始まる前にゆるしの秘跡を行います。

2月17日(土) 18時より

2月18日(日) 8時より

なお、18日の黙想会後にベリオン神父様の送別会を行います。

★クリスマス祝日献金★

12月24・25日

62,692円

ご協力ありがとうございました。

★レプトン会より★

トラピストクッキーとミサワインの販売

収益金： 11,275円

皆様のご協力に感謝いたします。

ペルーの貧しい子どもたちの支援金に活用します。

人・ひと

【帰天】安らかに！

1月5日

◇ペトロ 秦野 靖浩さん(中間地区)

1月16日

◇ローザ 頭島 美代子さん(吉田地区)

1月22日

◇セシリア 樋口 峰子さん(遠賀地区)